

発行日 2022-1-11

改訂日 2022-1-11

改定番号 5.01

1. 化学品及び会社情報

製品名 P400SC[†] Waterworks[†] Cleaning Solution

製品コード SDS-400625 JA J

PN (部品番号) 300-00600

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

製造者

Produced under authority
of Stratasys, Ltd.
Manufactured by:
Seacole CRC, LLC
13505 Industrial Park
Boulevard
Plymouth, MN 55441

輸入者

丸紅情報システムズ株式会社
製造ソリューション事業本部・デザインファクトリー部
〒169-0072
東京都新宿区大久保3丁目8番2号 新宿ガーデンタワー14階
電話：03-4243-4130
Fax：03-4243-4197

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 03-4243-4130

電子メールアドレス str_support@marubeni-sys.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 添加物の製造 溶剤

推奨されない用途 情報なし。

2. 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

皮膚腐食性／刺激性	区分 1 下位区分A
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語 危険
危険有害性情報
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

安全対策

- ・ 粉じん又はミストを吸入しないこと
- ・ 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること

応急措置

- ・ 直ちに医師に連絡すること
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 直ちに医師に連絡すること
- ・ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
- ・ 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと
- ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 直ちに医師に連絡すること

保管

- ・ 施錠して保管すること

廃棄

- ・ 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	60-80	既存	-	既存	-
水酸化ナトリウム	1310-73-2	10-30	既存	1-410	既存	1-410
企業秘密	企業秘密	1-3	既存	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	1-3	既存	-	既存	-

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9（労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係）

化学品の名称	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
水酸化ナトリウム	1310-73-2	通知対象物質	319	20 - 30

表示対象物質

安衛法表示対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9（労働安全衛生法第57条および労働安全衛生法規則第33条関係）

化学品の名称	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
水酸化ナトリウム	1310-73-2	表示対象物質	319	20 - 30

毒物及び劇物取締法

劇物

化学品の名称	CAS番号	毒物及び劇物
水酸化ナトリウム	1310-73-2	劇物（法律第2条、別表第2、指定令第2条）

4. 応急措置

一般的なアドバイス	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。直ちに医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けんと多量の水で洗うこと。直ちに医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間は眼を大きく広げてそのままにすること。受傷部をこすらないこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。直ちに医師の診察/手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	灼熱感。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。
医師に対する特別な注意事項	この製品は腐食性物質である。胃洗浄の使用又は嘔吐は禁忌である。胃穿孔又は食道穿孔がないか調べること。化学的解毒薬を与えないこと。声門の浮腫により窒息が生じるおそれがある。湿性ラ音、泡状の痰及び高脈拍圧を伴う著しい血圧低下が発生する場合がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	本製品は眼、皮膚、及び粘膜の薬傷を引き起こす。熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	注意！ 腐食性物質。注意！ 腐食性物質。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人保護具を使用すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい（洩）の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。環境中に放出してはならない。表土/下層土に侵入させないようにすること。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	更なる加工、取り扱い、又は他の手段の間に微粒子が生じた場合には、空気中で爆発性の粉じん濃度を生じるおそれがある。閉鎖空間における粉じんの蓄積を防ぐこと。じん雲を防止すること。すべての着火源を排除すること。
その他の情報	7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取り扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類および手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。他の物質から離して保管すること。
---------	---

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
--------	----------	-------------------------	-----------

水酸化ナトリウム 1310-73-2	Ceiling: 2 mg/m ³	-	Ceiling: 2 mg/m ³
-----------------------	------------------------------	---	------------------------------

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

眼、顔面の保護具 顔面保護シールド。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。耐薬品性エプロン。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 粉末
物理状態 固体
色 白色
臭い なし
臭いのしきい値 情報なし

<u>特性</u>	<u>値</u>	<u>備考・方法</u>
融点／凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
燃焼上限:		
可燃性下限:		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH	12.82	
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)		情報なし

蒸気圧		情報なし
密度及び/又は比重		
相対密度	1.4 - 1.6	g/cm3
蒸気濃度	情報なし	
かさ密度	情報なし	
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし
VOC含有率 (%)	殆どなし .?

10 : 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
爆発データ	
機械的衝撃に対する感度	なし
静電放電に対する感度	なし
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	長期間にわたる空気または湿気へのばく露。
混触危険物質	酸。塩基。酸化剤。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素。二酸化炭素 (CO2) 。アルデヒド。
反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	長期間にわたる空気または湿気へのばく露。
混触危険物質	酸。塩基。酸化剤。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素。二酸化炭素 (CO2) 。アルデヒド。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報
情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix (経口) 20,618.60 mg/kg

- 混合物の 0%は急性経口毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 0%は急性経皮毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 0%は急性吸入毒性 (ガス) が未知の成分から成る
- 混合物の 0%は急性吸入毒性 (蒸気) が未知の成分から成る
- 混合物の 0%は急性吸入毒性 (粉じん/ミスト) が未知の成分から成る

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
企業秘密	= 4090 mg/kg = 4090 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 2300 mg/m ³ (Rat) 2 h
水酸化ナトリウム	= 325 mg/kg = 325 mg/kg (Rat)	= 1350 mg/kg (Rabbit)	-
企業秘密	= 1153 mg/kg = 1153 mg/kg (Rat)	-	-

略語及び頭文字

- Rat: ラット
- Rabbit: ウサギ

症状 発赤。灼熱。失明を引き起こすおそれがある。咳および/または喘鳴。

製品情報

経口 火傷を引き起こす。(成分に基づく)。経口摂取すると消化管及び気道の上部に薬傷を引き起こす。暗色血の嘔吐及び下痢を伴う口及び胃内部の重篤な灼熱痛のおそれ。血圧低下のおそれ。口の周囲に褐色がかかった又は黄色がかかった変色が見られる場合がある。喉の腫脹による息切れ及び窒息のおそれ。飲み込むと肺損傷を引き起こすおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

吸入 吸入すると腐食性である。(成分に基づく)。腐食性のヒューム/ガスを吸入すると、数時間にわたる咳、窒息、頭痛、めまい及び脱力感のおそれ。胸苦しさ、息切れ、皮膚の青変、血圧低下、及び心拍数の増加を伴う肺水腫のおそれ。吸入された腐食性物質は毒性浮腫を引き起こす可能性がある。肺水腫は生命に危険である可能性がある。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。腐食性。(成分に基づく)。火傷を引き起こす。

眼接触 火傷を引き起こす。(成分に基づく)。眼に対して腐食性であり失明を含む重篤な損傷を生じるおそれがある。重篤な眼の損傷。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。火傷を引き起こす。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。眼に重度の障害を与えるリスクがある。火傷を引き起こす。

標的臓器影響

呼吸器。眼。皮膚。

12. 環境影響情報

生態毒性

化学品の名称	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
企業秘密	-	310 - 1220: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 static 300: 96 h Lepomis macrochirus mg/L LC50 static	265: 48 h Daphnia magna mg/L EC50
水酸化ナトリウム	-	45.4: 96 h Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 static	-
企業秘密	-	210: 96 h Brachydanio rerio mg/L LC50 210: 96 h Brachydanio rerio mg/L LC50 semi-static	-

未知の危険有害性物質の濃度

混合物の 0 % は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

この製品のデータはない。

土壌中の移動性

情報なし。

オゾン層への有害性

分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響

情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN1823
品名 (国連輸送名) SODIUM HYDROXIDE, SOLID
説明 UN1823, SODIUM HYDROXIDE, SOLID, 8, II
国連分類 (輸送における危険有害性8
クラス)
容器等級 II
海洋汚染物質 NP
EmS番号 F-A, S-B

MARPOL 73/78付 属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR

国連番号又はID番号 1823
品名 (国連輸送名) SODIUM HYDROXIDE, SOLID
説明 1823, SODIUM HYDROXIDE, SOLID, 8, II
国連分類 (輸送における危険有害性8
クラス)
容器等級 II
ERG コード 8L

IATA

国連番号又はID番号 UN1823
品名 (国連輸送名) SODIUM HYDROXIDE, SOLID
説明 UN1823, SODIUM HYDROXIDE, SOLID, 8, II
国連分類 (輸送における危険有害性8
クラス)
容器等級 II

日本

国連番号又はID番号 UN1823
品名 (国連輸送名) SODIUM HYDROXIDE, SOLID
説明 UN1823, SODIUM HYDROXIDE, SOLID, 8, II
国連分類 (輸送における危険有害性8
クラス)
容器等級 II



15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

表示対象物質

安衛法表示対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9（労働安全衛生法第57条および労働安全衛生規則第33条関係）

通知対象物質

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9（労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係）

毒物及び劇物取締法

劇物 - 毒物及び劇物取締法別表第2及び毒物及び劇物指定令第2条

消防法：

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学品の名称	CAS番号	化審法
企業秘密		優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA	適合する
DSL/NDSL	適合する
化審法インベントリ	適合する
IECSC	適合する
KECL	適合する
PICCS	適合する
AIIC	適合する

凡例：

- TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
- DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
- ENCS - 化審法既存物質
- IECSC - 中国現有化学物質名録
- KECL - 韓国既存化学物質目録
- PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
- AIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ

16. その他の情報

改訂日 2022-1-11

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

消防法： 該当しない。

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関 (EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)

危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース (IUCLID)

製品評価技術基盤機構 (NITE)

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)

NIOSH (米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム (NTP)

ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

この安全データシートに記載されている情報は、サードパーティの情報源から得られたものです。情報は発行日時点では正確であると信じられていますが、情報の正確性または完全性、あるいは本書で言及されている材料、物質、または混合物（総称して、「材料」）の品質または仕様に関して、いかなる表明または保証も行いません。この情報は、資料の安全な取り扱い、使用、消費、処理、保管、輸送、廃棄、および放出に関するガイドラインとしてのみ提供されています。情報はその目的上不十分である可能性があり、ユーザーは提供された情報に依存してはなりません。この情報は、本書に明示的に記載されている以外の材料または処理で組み合わせられた材料には適用されない場合があります。当社は、この安全データシートに含まれる情報への依拠に起因または結果として生じる損害、損失、または費用を含むがこれらに限定されない、いかなる種類の責任についても負わないものとします。

© 2015-2021 Stratasys Ltd. 内部使用のみを目的として無制限の紙/電子コピーを作成するライセンスを付与します。この安全データシートまたはそのセクションは、Stratasys Ltd.らの事前の書面による同意なしに、公開、複製、変更、または第三者に配布することはできません。

このSDSはJIS Z 7253 : 2012およびJIS Z 7252 : 2014(日本)に準拠しています。

安全データシートのおわり